

物流= 10/19

大阪で待機「1時間超」

コンテナ 協議の場求める

【大阪】大阪府トラック協会の海上コンテナ部会（山口与福雄部会長）が、兵庫県トラック協会海上コンテナ部会（佐賀里隆之部会長）、阪神港海上コンテナ協会（山口会長）とともに、9月に行ったドライバを対象とした待機時間に関するアンケートによると、大阪地区のコンテナターミナルの搬出入にかかる平均待機時間は1時間を超えていることが分かった。

大阪、神戸の両地区で計27のターミナルで実施。実入りと空きの両コンテナの搬出、搬入に要した待機時間をドライバーに回答してもらい、ターミナルごとに集計した。平均待機時間は

阪神港海コン3団体

運転者アンケート

大阪の1時間11分に対し、神戸は56分だった。

こうした結果を受け、11日開いた大阪ト協海コン部会の役員会では「神戸の方が滞留時間が短かったのは、ストックヤードを設けている成果。大阪地区でも設置に向けた働き掛けを続けていく必要がある」「滞留がひどいと、順番取りを目的とした違法駐車やシャシーの放置を助長することにもなりかねない」といった意見が出された。

3団体は引き続き協力しながら、ドライバーへアンケートする一方、放置車両の夜間パトロールも強化。ターミナル各社に積極的に協議の場を設けるよう働き掛け、長時間労働につながる30分以上の待機の解消に努める。

（小栗中和）

物流ニ、ホン
10/19

運賃届け出 必要性周知

大阪ト協海コン部会

改正運送約款の施行受け

【大阪】大阪府トラック協会の海上コンテナ部会は、運送約款施行に伴い、改めて運賃と料金の届け出が必

要になることを部会員に周知し、法令順守の徹底を図ることを確認した。
改正後に、新標準約款を使用する場合は事業所に掲



改めて運賃と料金の届け出が必要になることを部会員に周知

示するとともに、運賃と料金の変更届の提出が必要になる。また、「旧標準約款を引き続き使用する」「独自に定めた約款を使用したい」といった場合は、新たに認可を申請しなければならない。

大阪ト協では、原価計算セミナーなどでも、新標準約款の施行で必要になる届け出や認可の説明をしているが、部会員への更なる浸

透に向け、部会ニュースに分かりやすい解説を掲載する。

運賃の届け出について、出席者から「海コン輸送の実態や輸送原価を踏まえ、必要な数字を入力すれば目安となる運賃を求めること

ができる計算式を作成できないか」といった意見が出された。今後、海コン業界に特化した運賃計算のフォーマットがつかれないか検討していく。

(小栗史和)